

森林・林業白書の特集の内容（過去10年）

年度	テーマ名・内容
27年度	【林業】国産材の安定供給体制の構築に向けて 人工林資源の充実や国産材需給の現状について分析し、<u>国産材の安定供給体制の構築に向けた取組の現状や今後の課題</u>について、「原木の供給力の増大」と「木材等の需給情報の共有と原木供給のとりまとめ」に分けて整理。
28年度	【技術導入】成長産業化に向けた新たな技術の導入 林業の成長産業化を図る上で基礎となる<u>新たな技術</u>について、林業の生産性向上、情報通信技術（ICT）の活用、木材需要拡大、花粉の発生抑制の4つに分けて、<u>導入状況やその成果と課題等</u>を整理。
29年度	【制度】新たな森林管理システムの構築 森林の集積・集約化を進める「<u>新たな森林管理システム</u>」の構築の方向性について、欧州の代表的な林業国であるオーストリアとの比較により、<u>我が国林業の構造的な課題</u>を明らかにしながら記述。
30年度	【人材】今後の森林の経営管理を支える人材～森林・林業・木材産業にイノベーションをもたらす！～ 林業の成長産業化と森林の適切な経営管理に不可欠である<u>人材に着目して</u>、<u>林業経営体や林業従事者の動向や課題</u>を整理しつつ、森林・林業・木材産業における<u>イノベーションの必要性や個々のイノベーション事例</u>について記述。
令和元年度	【SDGs】持続可能な開発目標（SDGs）に貢献する森林・林業・木材産業 我が国におけるSDGsと森林・林業・木材産業との関係性を整理するとともに、<u>企業を始めとした様々な主体の森林との多様な関わりを、多くの事例を用い紹介</u>。また、SDGsの達成に向けた関係者の役割を記述。
2年度	【林業】森林を活かす持続的な林業経営 特集1として、林業経営体の課題を整理した後、森林の循環利用を前提とした販売強化・低コスト化による収益性向上、<u>人材の確保・育成、体制整備の取組</u>について紹介。まとめとして、今後の林業の<u>収支構造試算等の林業経営の可能性を提示</u>。 【林業・木材産業】新型コロナウイルス感染症による林業・木材産業への影響と対応 特集2として、林業・木材産業における新型コロナウイルス感染症拡大の影響を記述するとともに、社会の変容に対する林業・木材産業の動きを紹介。
3年度	【林業・木材産業】令和3（2021）年の木材不足・価格高騰（いわゆるウッドショック）への対応 特集1として、令和3（2021）年の木材不足・価格高騰の状況を整理し、輸入材から国産材への転換や国産材の安定供給に向けた取組を記述。 【木材産業】グリーン成長のカギを握る木材需要拡大と木材産業の競争力強化 特集2として、カーボンニュートラル等に貢献する木材利用の意義や建築分野における木材需要の状況を紹介した後、<u>木材産業の競争力強化の動向等</u>を整理。最後に木材需要拡大と木材産業の競争力強化に向けた<u>課題と対応</u>を記述。
4年度	【治山】気候変動に対応した治山対策 森林が国土保全に果たしてきた役割を紹介するとともに、<u>気候変動等に対応したこれからの方向性等</u>について記述。
5年度	【森林・林業・木材産業】花粉と森林 スギ等の人工林が造成されてきた経緯やスギ花粉症等の顕在化と対応の経緯を解説するとともに、<u>花粉発生源対策や今後の森林整備の方向性等</u>について記述。
6年度	【生物多様性】生物多様性を高める林業経営と木材利用 国内外における生物多様性への関心の高まりや、森林におけるこれまでの保全の取組、<u>生物多様性を高める林業経営とそこから生産される木材の利用の今後の方向性</u>について記述。